



西中学校だより

令和4年9月12日
東久留米市立西中学校



令和4年度2学期が始まりました

校長 薮野 勝久

二学期が始まり9月も半ばに入りました。活気あふれる西中学校が戻っています。どの学年も落ち着きのある態度で、よい学校生活を送っています。私たちは、今学期も新型コロナウイルス感染症拡大を防止しつつ、生徒の安全・安心を最大考慮しながら教育活動を進めていきたいと考えています。今後も保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いできれば幸いです。

先ずご報告すべきは、この夏休みには女子ハンドボール部が昨年に引き続き都大会、関東大会、そして全国大会すべてを制覇したことです。また、男子ハンドボール部も都大会優勝、関東大会準優勝、全国大会第3位と、3年生の部員が3名しかいない中、よくぞこの高みに到達したものかと、感心しております（大会の様子は本校Webサイトで確認できます）。また、夏季大会の全ての部活動の結果を裏面に掲載してありますので、ご参照いただければ幸いです。ハンドボール部のみならず、これまで本校の部活動を支えてくださった保護者の皆様をはじめ多くの方々にこの場をお借りして感謝したいと思います。ありがとうございました。

さて、今学期に入り、生徒会役員の改選が行われました。新たな西中のリーダーが投票という民主的な手続きによって決まりました。今年度はこれまでと異なり、立候補者が多い役員改選となりました。このことは2つの点で高く評価できると考えています。先ず第1に、投票によって落選する生徒もいますが、私は立候補すること、そのこと自体にとっても高い価値を感じています。それは他者の為に役立ちたい、貢献したいという意思、西中の皆の為にという利他的な考え方が立候補者にはあり、そこに価値があると考えているということです。利他性は「良き社会人」の重要な条件であり、この役員改選が、西中生徒が利他的な人へと成長していく大きな一歩であると考えています。

第2に、これまでと異なり立候補者が多くなったことは漸く一般生徒がこれまでの生徒会本部の活動の価値を認めた、ということだと思ふのです。ともすれば「どうせ誰かが役員を引き受け、形だけの本部の活動をやってあげればいい」といった考えが支配しがちなことも多いと聞きます。しかし、今年度は「自分もあのような活動をしてみたい」という、これまでの役員の皆さんが、謂わばあこがれのような存在となって生徒に映っているような気がしております。今年度前期までの生徒会長を中心とした皆さん、そして中央委員長を中心とした中央委員会、専門委員会の皆さんには感謝しております。

こうした活動を通してやがて本校卒業生たちが、世界の平和と幸せを願い行動できる人、社会のために活躍しようとする「良き社会人」となっていくことを願ってやみません。

3年生は8月31日（水）から2泊3日で中学校生活初めての宿泊的行事となった修学旅行に行きました。抗原検査を全生徒及び全教員が行っての出発でした。1日目は全クラスが奈良の法隆寺、薬師寺、2日目は東大寺を巡り、その後班ごとに選択した京都の班行動でした。この日は朝から奈良も京都も台風の影響で雨が降ったりやんだりの不安定な天気でした。最終日はクラス毎に選択した京都のバスによる見学でした。



法隆寺

ところで、この修学旅行の目的は、先ずは「日本の文化や歴史に興味を持たせること」であることは言うまでもありません。子供達のしおりの前文にも「単なる観光旅行や物見遊山（ものみゆさん）ではありません。」と書きました。日本では昔から「見る単元」と言って、人々の生活を見る、歴史的な意味での人間の生活を見ることが生徒の為になる、と言う考えが教育界にはあり、物見遊山とは異なるとされてきました。つまり「世間を見ることが社会人として非常に大切な教養、経験になっていた」（梅根悟）のです。「エミール」（ルソー）でもエミールの教育の総仕上げとして諸外国をめぐる旅行に出掛けています。修学旅行もある意味ではこうした昔からの伝統に従った見る教育の一つとも考えられ、コミュニティ・スクールで有名な E・G・オルセンは 1950 年代に日本の修学旅行について紹介しているほどで、見せることは価値の高い教育でした。

京都・奈良を日本の文化的側面や歴史的側面で見学させると同時に、文化・歴史に興味を持たせること、これが私たちの目的です。しかし、現代では昔事となり情報通信網の発達も手伝って、単に見学をしたからといって、子供達が日本文化・歴史に興味をもつなどと言うことは全く期待できません。何の知識もなく東大寺に行っても、「大仏、大きくて超感動したっ！」とその大きさに驚くのが精々だと思います。そもそも感動というのはあふれ出す喜びが言葉にならない、そうした心の状態なのであって、簡単に口を衝くものではなく、こうした感想を抱かせるような修学旅行にはしたくありませんでした。

では、こうした真の感動体験をさせるためには教育的に何が必要かといえ、それは事前の学習が必須だと思います。千三百年前に廬舎那仏建立（るしゃなぶつ こんりゅう）を願った聖武天皇（しょうむてんのう）や行基（ぎょうき）の想い、その後の鑑真和上（がんじんわじょう）の夢と現実などを事前学習で学ぶことによって、当時生きた人々の「いにしへの てぶりこととひ（事問い） 聞見るごとし」（本居宣長）、となるのだと思います。過去に起こった単なる出来事や眼前にある単なる客体に感動するのではなく、「古人によって生きられ、演じられた出来事」（小林秀雄）を、古人の内に分け入って想像すること、亀井勝一郎の言う「復元力」をもってみること、こうした主体的な態度こそが歴史観を育て、ものの見方・考え方を育み、その結果として見学で感動を呼び起こすのではないかと考えています。

毎年そうですが、今回の修学旅行でも見学予定地についての事前学習、特に法隆寺や東大寺など、共通して見学するところについての事前学習を学級活動や各教科が中心となり行いました。総合的な学習の時間や社会科では東大寺の学習で聖武天皇、行基（ぎょうき）、鑑真和上など、また法隆寺では聖徳太子などといった人物に焦点を当てた事前学習を行いました。国語科でも、学んだことを紀行文にするための事前学習を行って修学旅行に臨みました。

当日の見学の様子は、しっかり事前に学習しただけのことがあり、例えば法隆寺では、大宝蔵院の玉虫厨子の捨身飼虎図（しゃしんしこず）や百済観音（くだらかんのん）、橘婦人稔侍仏（たちばなふじんねんじぶつ）など、食い入るように見学していて、「見学時間が足りない」という生徒の声が聞かれるほどで、それは私にとって嬉しさでもありました。それぞれの歴史上の人物や歴史的意味を理解した上で見学し、真の感動を得た生徒は少なくなかったと思います。とかく、子供は、面白さは与えてくれるもの、面白くさせてくれることに期待するといった稚拙な考えがあるものです。驚きやおかしさが無ければ面白くない、そう考えてしまいがちでもあります。しかし、本当の面白さというものとは与えられるものではなく、掴みに行くものだと言うことを理解させる絶好の機会になったとも考えています。

冒頭でも申し上げましたが、一番長く、そして一番学習するのによい季節である二学期が始まりました。今学期もよろしく願いいたします。

輝け！ 西中 部活動の活躍！

(敬称略)

【ハンドボール部】 全中女子優勝 2連覇！！

- 第51回 全国中学校ハンドボール大会 優勝
- 種目 ハンドボール女子
- 優秀選手賞 普久原 光怜・永井 桜莉・普久原 朱怜
- 第51回 全国中学校ハンドボール大会 第3位
- 種目 ハンドボール男子
- 優秀選手賞 物井 徠杏
- 第51回 関東中学校ハンドボール大会 優勝
- 種目 ハンドボール女子
- 第51回 関東中学校ハンドボール大会 準優勝
- 種目 ハンドボール男子
- 第61回 東京都中学校総合体育大会 優勝
- 種目 ハンドボール女子
- 第61回 東京都中学校総合体育大会 優勝
- 種目 ハンドボール男子



【卓球部】

- 第17回 東久留米市中学校スポーツ大会 準優勝
- 卓球女子団体の部 西中 Aチーム
- 卓球2年女子シングルの部 小貫 日菜子 優勝
- 卓球2年女子シングルの部 吉森 絢果 準優勝
- 卓球2年女子シングルの部 梶原 茉依 第3位



【ソフトテニス部】

- 第17回 東久留米市中学校スポーツ大会 優勝
- ソフトテニス 2年女子団体の部 西中 A 第3位
- ソフトテニス 2年女子団体の部 西中 B 優勝
- ソフトテニス 1年女子団体の部 西中 A 準優勝
- ソフトテニス 1年女子団体の部 西中 B 優勝
- 第17回 東久留米市中学校スポーツ大会 優勝
- ソフトテニス 男子団体の部 西中 A



【ソフトボール部】

- 第17回 東久留米市中学校スポーツ大会 優勝
- ソフトボールの部
- 最優秀選手賞 加藤 結生



【女子バレーボール部】

- 第17回 東久留米市中学校スポーツ大会 準優勝
- バレーボール女子の部
- 優秀選手賞 齋藤 桃花



【男子バレーボール部】

- 第17回 東久留米市中学校スポーツ大会 優勝
- バレーボール男子の部
- 優秀選手賞 廣瀬 絆人
- 第4回 久留米カップ大会 優勝
- バレーボール男子の部
- 優秀選手賞 柳 考介



【女子バスケットボール部】

- 第17回 東久留米市中学校スポーツ大会 第3位
- バスケットボール女子の部
- 優秀選手賞 金澤 千夏



【サッカー部】

- 第17回 東久留米市中学校スポーツ大会 優勝
- 優秀選手賞 黒崎 与祇明
- 優秀選手賞 牧野 暖人

【音楽部】

- 第89回 NHK 全国学校音楽コンクール 銀賞
- 東京都コンクール 中学生の部



【愛のひと声運動健全育成標語】

- 「笑顔のたすき 広がる心 あいさつで」1年 高堀 ルナ 優秀賞